



京丹後に棲む
絶滅危惧種のハヤブサ

ハヤブサ

ニュース

No. 92

2024年1月23日

発行 米軍Xバンド レーダー基地反対・京都連絡会

連絡先 〒602-8347 京都市上京区四番町121-5 大湾 宗則

電話&FAX 075-467-4437

郵便振込座 00950-9-303127 名義 京都連絡会

米軍 X バンドレーダー基地への 重要土地規制法適用 「特別注視区域」指定反対!



米軍基地前抗議アピール

昨年12月26日に開催された第8回土地等利用状況審議会で、いよいよ京丹後・宇川の米軍Xバンドレーダー基地と自衛隊経ヶ岬分屯基地の周辺が土地利用規制法にもとづく「特別注視区域」の候補地にあげられた。政府・内閣府は関係自治体からの意見聴取など形式的なプロセスを経てその指定に向かおうとしている。

私たちは京丹後・宇川の基地周辺の「特別注視区域」への指定に反対し、その撤回を求める。

戦争体制づくり、安保強化のための違憲立法

土地利用規制法は、国の「安全保障」を口実に、憲法が保障する基本的人権に制限を加えようとする違憲立法であり、早急に廃止されるべきものだ。それはこのかん政府が進めてきた戦争体制づくり、日米安保体制強化の一部であり、平時から軍事がすべてに優先する体制をつくりだそうとするものに他ならない。それはまた、国が地方公共団体に対してその保有する個人情報提供を要求するなど、地方自治の本旨とも相容れない。岸田政権は、「特別注視区域」・「注視区域」の指定を進めることで、廃止されるべき土地利用規制法を既成事実化し、戦争体制づくりをさらに一歩具体化しようとしている。

反基地運動への弾圧と萎縮を狙う

「特別注視区域」への指定によって、基地周辺約1キロの土地・建物などの利用が規制の対象となる。いわゆる「機能阻害行為」に対しては刑事罰を加えることができるとされる。しかし、何が「機能阻害行為」にあたるのかは曖昧であり、政府の判断によってどのようにでも拡大解釈できる。また、「機能阻害行為が行われることを防止するため」に行うとされる「土地利用状況調査」は、土地・建物の所有者に加えて「利用者その他の関係者」をも対象としており、調査の範囲と内容も限定されていない。京丹後・宇川と共に全国の米軍基地や自衛隊基地、原子力発電所周辺の「注視区域」・「特別注視区域」への指定が進んでいるが、それは反戦・反基地・反安保、反原発などの運動への監視と弾圧の体制を強化することで、その萎縮を狙うものだ。

基地強化、監視体制強化を許さず運動の前進へ

京丹後・宇川の米軍Xバンドレーダー基地をめぐるのは、日米韓三国によるレーダー情報の即時共有の開始による機能強化、「基地警備訓練」という名の日米合同軍事訓練、監視カメラの増設など、基地の強化、監視体制の強化が進められてきた。今回の「特別注視区域」への指定は、そのような動きをさらにいっそうおし進めることになる。それをねのけていくためには、岸田政権の戦争政策と対決し、日米安保体制を覆していく以外にない。米軍Xバンドレーダー基地周辺をはじめ全国での「注視区域」・「特別注視区域」の指定に反対し、土地利用規制法を廃止させ、岸田政権の戦争政策・安保強化と対決して米軍Xバンドレーダー基地の撤去に向かう私たちのたたかいを共にいっそう前進させていこう。

京丹後現地訪問案内

2月16日(金)

*午前8時30分、鴨川五条大橋西詰 GS 前集合
*参加を予定する方は事前連絡をお願いします。
(池田: 090-7108-5508)

京都で進む自衛隊の戦争準備を止めよう！

文責：瀧川



京都精華町の陸上自衛隊祝園分屯地内にある関西補給処祝園弾薬支所に弾薬庫8棟を増設

防衛省は、安保3文書に基づく反撃能力(敵基地攻撃能力)や、補給を切らさない継続戦闘能力を保有するために、23年度から10年間で全国に約1400棟ある弾薬庫に約130棟を増設する方針。とりわけ、「反撃能力」を行使するための「スタンド・オフ・ミサイル」も保管できる大型の弾薬庫を大分市の陸上自衛隊大分分屯地と青森県むつ市の海上自衛隊大湊地方総監部にそれぞれ2棟、他の自衛隊施設に6棟程度新設する方針を固めました。

24年度予算では、全国14カ所に弾薬庫を新設する222億円が計上されています。祝園の弾薬庫8棟増設は、陸自だけでなく海上自衛隊の弾薬も保管できるようにするもので、設計・工事費102億円が計上され、本州の陸自弾薬庫施設では最大の規模となり、「南西諸島」や九州だけでなく、本州でも有事に備えた補給拠点が整備される形になります。

陸・海自衛隊の共同使用の背景には、海自ではイージス艦に搭載する米国製巡行ミサイル「トマホーク」最大400発や、多数の新型ミサイルを取得するため、弾薬庫不足が課題になっていることもあります。海自の舞鶴基地にはイージス艦2隻が配備されており、弾薬庫3棟が新設されることになっています。

一気に加速する戦争体制づくり

戦争体制づくりー敵基地攻撃態勢づくりのために、弾薬庫の増強や基地の強靱化(283地区)など全国の自衛隊基地強化が計画され、日米合同演習が拡大し、民間空港・港湾施設の軍事利用が推進されていこうとしています。土地利用規制法もま

た、安保体制の一環であり、反基地運動をはじめ民衆の抵抗を押さえつけるためのものに他なりません。岸田政権は、5年で43兆円の軍事費倍増や「防衛増税」に加えて、「防衛装備移転三原則」の緩和によって米国へのパトリオット・ミサイルの輸出など武器輸出の拡大と自国の軍需産業の育成を進めようとしています。

近畿周辺では、航空自衛隊小松基地にステルス戦闘機F35Aの配備が予定されているし、海上自衛隊舞鶴基地に所属するイージス艦へのトマホーク・ミサイルの配備と司令部の地下化が進められようとしています。自衛隊祝園弾薬庫は敵基地攻撃体制づくりのための補給拠点として増強が計画され、パトリオット・ミサイルが配備されている滋賀県のあいば野演習場での日米合同演習の強化が行われています。昨年12月から開始された日米韓によるレーダー情報の即時共有は、米軍Xバンドレーダー基地の機能強化と直接結びついています。土地利用規制法の「特別注視区域」に米軍経ヶ岬通信所、航空自衛隊経ヶ岬分屯基地、海上自衛隊舞鶴基地の一部が候補に上がっていることも注目して反対していかなばなりません。

新たな段階の日米安保体制との闘いを

アジアにおける民族解放闘争と朝鮮戦争の中で日本を「反共防波堤」にするものとして成立した日米安保体制は、いま世界と東アジアの情勢の激動の中で、自衛隊による敵基地攻撃態勢を構築し、第一列島線防衛を自衛隊が担おうという新たな段階に入っています。それは東アジアの覇権をめぐり、中国への軍事包囲体制の一環であるとともに、海外の権益の確保のための独自の軍事介入を可能とする体制を作り出そうとするものです。

そのもとで、「南西諸島」での自衛隊の大幅な配備増強、ミサイル基地・レーダー基地の建設など、沖縄を犠牲にして強行されてきました。「離島奪還」や「島しょ防衛」を名目に島々を戦場に見立てて、そこに向けて自衛隊や米軍の部隊を集結させる大規模な軍事演習が、港湾や民間空港も利用しながら頻繁に行われてきました。さらに、辺野古新基地をめぐるのは、昨年12月20日に「設計変更」をめぐる代執行訴訟で沖縄の民意を踏みにじる不当判決が出されて早々、日本政府は代執行の手続きを行い、1月10日には大浦湾側の海面埋め立て工事に踏み出しました。この日本政府の攻撃を弾劾し、沖縄の人々と連帯し、辺野古新基地建設阻止、「南西諸島」での軍事体制強化に反対するたたかいを京都・関西でも強めていきましょう。

反安保・沖縄闘争の敗北をかみしめ、反省して前へ

大湾 宗則

2018年12月14日、沖縄県名護市の辺野古崎沿岸に国が初めて土砂投入を執行した。

2024年1月10日、政府・防衛省は、代執行に基づいて軟弱地盤のある大浦湾への土砂投入を実力行使した。沖縄県民と連帯する私たちはこの「土砂投入」という政府の代執行(実力行使)を阻止することができず敗北した。この敗北の事実を大衆的に確認し、反省し、克服する方途を共同討論で見つけ出さなければならない。

第一は、国家に公益なし、公益は人民の社会権。

政府との争点要旨だが、政府は「辺野古埋め立てが普天間米軍基地の危険性除去と日米安保条約による両政府の信頼を維持することが公益であり、それを阻害する玉城沖縄県知事の不承認は地方自治法(法定委託事務の処理)違法であり、公益に反する」とのこと。

結論から言って政府(国家権力)は、公益(大衆の利益)に制約されるのであって公益を理由に実力行使する権原を持たない。

資本主義社会は、資本による労働の搾取と支配のもとで個人の私益を基礎に資本(企業)の権益と国家の国益によって成立している。

しかし現代社会では、社会の圧倒的多数者が労働者階級(人民・民衆)であり、この大衆の利益こそ公益である。この民衆の公益は社会権(団結・交渉・争議権など)に根拠があり、実力行使の根源である。決して人民の利害に反して公益はありえない。問題は、辺野古新基地建設反対の民意が沖縄では70%を超えるが、沖縄は人口で日本全体の約1%でしかない。「沖縄の民意」に対して政府・与党を支持する「国民の民意」を対置されれば太刀打ちできない。今がその状況だ。その課題の解決が次の第二だ。

第二は、何故辺野古新基地建設反対(阻止)の闘いが全国化し世界に広がらないのか？

政府は沖縄差別を利用して国土の0.6%に米軍基地の70%強を強制し、沖縄に基地被害を集中させている。しかし沖縄に限らず米軍基地や自衛隊基地による被害は、日米安保条約に基づいている。沖縄県は基地の負担軽減の解決を日米安保を認めた上で基地の全国平等負担を呼び掛けているがどこも受け入れはしない。

在日米軍と自衛隊の存在根拠が日米安保条約なら米軍及び自衛隊(基地)による被害は米軍基地と自衛隊基地の撤去以外にありえない。

沖縄の負担軽減は安保廃棄闘争の彼我の力

関係で安保を守るため相手が妥協した時、勝ち取れるもの。しかもこの基地被害の撤去は、基地が持つ加害の撤去について被害に対すると同等、それ以上に闘わなければ人々の信頼と共感を得ることはできない。ベトナム、アフガン、イラク戦争で、今また中国、朝鮮への軍事的威嚇によって沖縄が果たしてきた「悪魔の島」としての加害の反省こそ全国化と国際連帯に不可欠である。この沖縄に「悪魔の島」の汚名を押し付けたのは日本政府であり、支えたのが日本国民である。根底から反省しなければ反安保・辺野古新基地建設阻止の闘いは前に進まない。

その上で困難だが全国と世界に広げるために闘いの中心に労働者大衆が再結集する道筋を戦略として共同で作り上げなければならない。

第三は、「声と要請文(紙)の決議」では政府の実力行使は止められない!

政府は閣議決定、判決で執行(実力行使)している。これに対抗する勢力は、海上と基地前行動以外は、政府の実力行使に対して反対表明、要請と決議、「声と紙っぺらに文字を印刷」したものを郵送又は手渡すことに止まっている。要請が無視されても何らの「実力行使」の準備もしていない。これでは「民意が公益」と言っても力のないただの「言の葉」に過ぎない。「島ぐるみ闘争」～「返還協定」反対の闘いは実力行使の連続だったことを想起すべきです。

第四は、辺野古は日本権益防衛の前進基地だ!

何故政府は「辺野古が唯一」を繰り返し、違法を顧みず、工事を強行するのか？

① 日本の国富は、戦後80年近い年月かけて東アジアに蓄積した海外資本の権益があり、その権益防衛のため自衛隊海外派兵の前進基地が必要、それが辺野古新基地なのだ。

② 辺野古新基地は、オスプレイとF35B、水陸両用起動団とこれらの移動に「いづも」など準空母が接岸できる岸壁を備えた海兵隊総合基地建設。この新基地を核にキャンプ・シュワブ、キャンプ・ハンセン、辺野古弾薬庫、八重岳の米軍通信所(レーダー)、高江のオスプレイパット、伊江島の艦載機離着陸訓練場、北部やんばるのジャングル訓練場などが新基地を中心に総合的な海兵隊総合基地・要塞となっている。③ここから東アジアに進出している日本企業の工場、邦人を現地地の反日・反政府勢力から武力で防衛する海外派兵の出撃基地として辺野古は作られつつある。新基地建設に反対する理由だ。

お知らせ

1月例会

11.23沖縄連帯平和大集会参加報告と
祝園弾薬庫強化に反対する学習会
報告 瀧川順郎さんと沖縄派遣参加者
.....

中北龍太郎さん逝去 黙祷

2023年12月8日、「近畿連絡会」の代表世話人・
中北龍太郎さんが逝去されました。



中北さんは 1947年生まれ、1976年に大阪弁
護士会に弁護士登録。享年76歳。

大阪を中心に反戦・反基地・反改憲闘争の先頭を
担われ、また、狭山事件再審弁護団事務局長を務め、
差別の撤廃に力を注がれました。

葬儀は、家族葬で執り行われ、現在大阪の仲間たち
が「追悼会」の相談会をされています。

日時がわかり次第お知らせします。
.....

米軍Xバンドレーダー基地反対 「京都/近畿連絡会」総会&旗開き

京都連絡会「総会」

2月25日(日) 13:00～15:10

近畿連絡会「旗開き」

2月25日(日) 15:30～17:00

飲食有り ￥1,000.-
.....

三上智恵監督の「戦雲(いくさふむ)」

「国防」をうたい棄民亡国へ突き進む人々へ
島々から平和への切なる祈りをこめて



3月22日(金)～
京都シネマで
上映開始

「街なかビラ」の報告と 今後のお知らせ (文責 白井)

2023年12月の報告

第164回 12月25日(月) 北野天満宮周辺7人

2023年最後の「街なかビラ」は、暖かい日差しの中、
そして「終い天神」で賑わう中で実施しました。

<街の人の声>

- (経が岬) ここ知ってる、ちゃんと読ませてもらう
(70代?夫婦)
- 百万遍でもこのビラ貰った(80代?男)
- どこにあるの? ●この問題も大変やな～(高齢・女)
- 税金がこんな事にばかり使われる、アカン
(70代?女)
- 行き過ぎた後で戻ってきて、受け取り
読んでくれた人(若い人)もありました。

※京都に米軍基地があることを知らない人は、まだまだ
多いです。「ごくろうさん」「頑張って」「ありがとう」と
言って受け取る人もあるが、無視する人が多い
のも、どこで取り組んでも一緒です。

～1年間有難うございました。～



今後の予定です

第166回(2024)1月26日(金) 伏見・大手筋

集合場所: 京阪「伏見桃山」駅前

時間は11:00～12:00です。

無理のない体調でご参加ください。待っています。

連絡先: 090-5672-1597 (白井)